

第1問	民法	錯誤	司法試験R2-3
-----	----	----	----------

## 〔第1問〕

錯誤に関する次のアからオまでの各記述のうち、正しいものを組み合わせたものは、後記1から5までのうちどれか。

- ア. 錯誤を理由とする意思表示の取消しの可否について、錯誤の重要性は、表意者を基準として判断される。
- イ. AのBに対する意思表示がAの錯誤を理由として取り消すことができるものである場合、Bも、Aの錯誤を理由としてAの意思表示を取り消すことができる。
- ウ. 負担のない贈与について贈与者であるAの錯誤を理由とする取消しがされたが、受贈者であるBが既に当該贈与契約に基づいて給付を受けていた場合、Bは、給付を受けた時に当該贈与契約が取り消すことができるものであることを知らなかったときは、現に利益を受けている限度において返還の義務を負う。
- エ. AのBに対する意思表示が錯誤を理由として取り消された場合、Aは、その取消し前に利害関係を有するに至った善意無過失のCに、その取消しを対抗することができない。
- オ. AのBに対する意思表示が錯誤に基づくものであって、その錯誤がAの重大な過失によるものであった場合、Aは、BがAに錯誤があることを知り、又は重大な過失によって知らなかったときを除いて、錯誤を理由としてその意思表示を取り消すことができない。

1. ア イ      2. ア オ      3. イ ウ      4. ウ エ      5. エ オ

第1問	民法	錯誤	正解 4
-----	----	----	------

**ア誤り。** 95条1項柱書。意思表示は、次に掲げる錯誤に基づくものであって、その錯誤が法律行為の目的及び取引上の社会通念に照らして重要なものであるときは、取り消すことができる。

よって、錯誤の重要性は、法律行為の目的及び取引上の社会通念に照らして判断される。

したがって、本記述は誤っている。

**イ誤り。** 120条2項。錯誤、詐欺又は強迫によって取り消すことができる行為は、瑕疵ある意思表示をした者又はその代理人若しくは承継人に限り、取り消すことができる。その趣旨は、表意者の利益保護を図る点にある。

よって、Bは、Aの錯誤を理由としてAの意思表示を取り消すことができない。

したがって、本記述は誤っている。

**ウ正しい。** 121条の2第1項は、「無効な行為に基づく債務の履行として給付を受けた者は、相手方を原状に復させる義務を負う。」と規定し、同条2項は、「前項の規定にかかわらず、無効な無償行為に基づく債務の履行として給付を受けた者は、給付を受けた当時その行為が無効であること（給付を受けた後に前条の規定により初めから無効であったものとみなされた行為にあっては、給付を受けた当時その行為が取り消すことができるものであること）を知らなかったときは、その行為によって現に利益を受けている限度において、返還の義務を負う。」と規定している。無償行為を取り消す場合、当事者の一方のみが返還義務を負うことから、利益の受領後の管理処分の結果として当事者間に不均衡が生じるおそれはなく、善意の受領者の管理処分について利益保護を図る必要がある。

したがって、本記述は正しい。

**エ正しい。** 95条4項。95条1項〔注：錯誤〕の規定による意思表示の取消しは、善意でかつ過失がない第三者に対抗することができない。

その趣旨は、錯誤による意思表示をした者は軽率であるとの非難を免れないところ、その意思表示に基づく法律関係を前提として利害関係を有するに至った善意無過失の第三者があるときは、その第三者を保護し、取引の安全を図る点にある。そして、かかる趣旨から、同条項の第三者は取消し前の第三者に限られると解される。

よって、Aは、その取消し前に利害関係を有するに至った善意無過失のCに、その取消しを対抗することができない。

したがって、本記述は正しい。

**オ誤り。** 95条3項2号。95条3項柱書は、「錯誤が表意者の重大な過失によるものであった場合には、次に掲げる場合を除き、第1項の規定による意思表示の取消しを

することができない。」と規定し、同条項1号は、「相手方が表意者に錯誤があることを知り、又は重大な過失によって知らなかったとき。」、同条項2号は、「相手方が表意者と同一の錯誤に陥っていたとき。」と規定している。

同条項2号の趣旨は、自らも表意者と同じ錯誤に陥っていた相手方は、表意者の錯誤を責めることができる立場になく、その信頼は保護するに値しないとする点にある。

よって、Aは、BがAに錯誤があることを知り、又は重大な過失によって知らなかったときのみならず、BがAと同一の錯誤に陥っていたときにも、錯誤を理由としてその意思表示を取り消すことができる。

したがって、本記述は誤っている。

以上により、正しい記述はウとエであり、したがって、正解は肢4となる。

【MEMO】